

全国社会就労センター協議会 結成40周年記念大会

平成29年度 全国社会就労センター総合研究大会(兵庫大会)

開催要綱

テーマ 「働く・くらす」を支える「社会就労センター／SELP」の未来を展望する



1. 趣 旨

1977(昭和52)年に全社協・授産事業協議会を含む3団体が団結、本会の前身である「全国授産施設協議会」(全授協)が結成されました。きっかけはオイルショック以降の不況下で仕事を確保するべく、官公需推進を目指し共同研究を始めたことにあります。現在、全国各地で都道府県セルフ協・セルフセンターを中心に共同受注窓口が整備され、2012(平成24)年には優先調達推進法も成立、現在、本会結成時の目標は一定の形が得られています。

しかし、社会就労センターを取り巻く現状は厳しく、この10年間で就労継続支援B型事業の工賃は伸びたものの全国平均月額で1万5,033円(平成27年度)に留まり、地域での自立生活を実現するにはほど遠く、一般就労も法定雇用率が達成されない状況が続く等、依然として多くの課題を抱えています。本会の目指す「自立した生活を送ることができるだけの工賃(賃金)」「企業等で長く働き続けられる環境」「地域で安心してくらすような住まいの整備」を実現するためには、関係制度のより一層の拡充は勿論のこと、我々セルフ関係者も一層の取組が求められています。

「社会就労センター／SELP(セルフ)」は、授産施設という名称を親しみあるものとし、あわせて施設内部の意識改革や事業振興と環境改善を推進し、社会に授産の存在意義を訴えることを目的に進められた「CIプロジェクト」(1994(平成6)年～1996(平成8)年)を通じて生まれたものです。プロジェクトの要点は、SELPの名称のみならず、働く障害者への理解を社会に広げるとともに、各施設に製品の質の向上等をはじめ自発的な取組を求めたことにあります。この考えは、約20年を経た現在にも通じるものです。

2017(平成29)年は本会の結成から40年の節目の年であり、今一度「社会就労センター／SELP(セルフ)」に込められた想いを関係者皆が共有することが大事です。就労支援を取り巻く制度のこの10年(平成20(2008)年～29(2017)年)の変化は、実に大きなものがありました。障害者自立支援制度への移行、障がい者制度改革推進本部のもとでの検討から障害者総合支援法の成立、さらに障害者権利条約の批准もなされました。この兵庫大会では、激動の10年を振り返り、新たな展望(未来)を皆で切り開く機会とすべく、多くの関係者のご参集を期待しております。

2. 主 催

社会福祉法人全国社会福祉協議会 全国社会就労センター協議会

〔共催〕 ■ 認定特定非営利活動法人 日本セルフセンター ■ 社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会
■ 近畿社会就労センター協議会 ■ 兵庫県社会就労センター協議会

3. 後 援(依頼中)

■ 厚生労働省 ■ 兵庫県 ■ 神戸市 ■ 社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会
■ 公益財団法人 日本知的障害者福祉協会

4. 日 程

平成29年7月27日(木)～28日(金)〔2日間〕

5. 会 場

「神戸ポートピアホテル」B1F『偕楽』(全体会場)

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6丁目10-1 (TEL: 078-302-1111)

(会場地図は別紙「申込のご案内」の「宿泊施設マップ」参照)

※ 大会2日目の分科会の一部会場は隣接する「神戸商工会議所」となります。

6. 募集人数 500名

7. 参加対象

- 社会就労センター（就労支援事業所、障害者支援施設等）に勤務する役職員
- 都道府県・指定都市、市区町村の行政職員および社会福祉協議会役職員
- 社会就労センターを利用する本人およびご家族等

8. 参加費

- 主催団体会員施設・事業所 1名につき15,000円
- 未加入施設・事業所 1名につき38,000円

※ 行政職員、社協役職員、利用者本人及びご家族の方は会員施設・事業所の参加費を適用します。
※ 参加申し込みと同時に加入申し込みをされた場合、会員扱いとします。
※ 永年勤続表彰、特別表彰を受けられる方で、表彰式のみに参加される方は、参加費は必要ありません。（表彰式以外のプログラムに参加する場合は参加費をいただきます。）

9. プログラム ※ 予定であり変更の可能性があります。

【第1日目 7月27日（木）】

時間	内容
10:30~11:30	開会式・特別表彰式・永年勤続表彰式 ＜開会挨拶＞ 全国社会就労センター協議会 会長 日本セルフセンター 会長 * 「特別表彰」は、セルフ協結成40周年を記念して、協議員を長く務められた方、多大な貢献のあった方に対して、セルフ協会長が表彰を行います。 * 「永年勤続表彰」は、社会就労センター等に20年以上勤務している職員の方で、社会就労センターを経営（運営）する法人の理事長より推薦された方に対して、セルフ協会長が表彰します。
11:30~12:30 (60分)	行政説明「障害福祉施策の動向」 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 課長 内山 博之 氏 * 障害者の就労支援を中心に障害福祉施策について、平成30年4月の改正障害者総合支援法の施行や平成30年度障害福祉サービス等報酬改定等、今後の検討スケジュールやポイント等の説明をいただきます。
12:30~13:30	昼食・休憩
13:30~14:30 (60分)	基調報告「障害者就労支援の現状・課題とセルフ協の対応」 全国社会就労センター協議会 会長 * 平成29年4月からの就労継続支援A型事業見直しや改正社会福祉法の完全施行、平成30年4月施行の改正障害者総合支援法（就労定着支援事業の創設等）や次期障害福祉サービス等報酬改定等、社会就労センターに関係する各種施策に対して、セルフ協の考える課題と対応（実施事業）を報告します。
14:30~14:45	休憩
14:45~17:15 (150分)	記念シンポジウム 「激動のこの10年を振り返り、障害者の『働く・くらす』を支える『社会就労センター／SELF』のこれからを展望する」 ＜シンポジスト（5名）＞ ・ 全国健康保険協会 理事、元厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長 藤井 康弘 氏 ・ 弁護士、明治大学法科大学院教授 平田 厚 氏 ・ (株)花王 和歌山工場 コンシューマープロダクツ部門部長 小塚 淳 氏 ・ 全国社会就労センター協議会 副会長 ・ 埼玉県立大学 教授 朝日 雅也 氏【進行兼】

	<p>* 障害者自立支援制度への移行から障がい者制度改革推進本部のもとの制度検討、その後の障害者総合支援法の成立、さらに同法の施行後3年の見直しと、制度が目まぐるしく動いたこの10年を振り返ります。そのうえで、障害のある方の「働く・くらす」を支えるという役割をこれからも果たし続けるために、就労支援施策のめざす方向、社会就労センターのこれからについて検討します。</p>
17:15~17:30	休憩
17:30~18:00 (30分)	<p>事業報告</p> <p>▶ 「セルフ協『働く・くらす』を支える就労支援施策のめざす方向（基本論）の見直し検討の状況について」 全国社会就労センター協議会 制度・政策・予算対策委員会</p> <p>▶ 「『SEL Pロゴマーク』の使用規程見直しと普及について」 全国社会就労センター協議会 事業振興委員会</p> <p>* 平成29年度事業の一つである平成22年度にとりまとめたセルフ協基本論（「働く・くらす」を支える就労支援施策のめざす方向）の見直し検討の状況と、28年度に実施した「SEL Pロゴマーク」の使用規程見直し（29年度施行）と今後のロゴマークの普及の取組について報告します。</p>
18:00~18:30	移動・休憩
18:30~20:30	<p>結成40周年記念パーティー（兼 情報交換会）〔希望者のみ〕</p> <p>※ 会場「神戸ポートピアホテル」別館（南館）1F『大和田』</p>

【第2日目 7月28日（金）】

時 間	内 容
9:00~11:45 (165分)	<p>分科会（事業種別部会等）</p> <p>① 生保・社会事業部会（運営：セルフ協 生保・社会事業部会 幹事会） ※ 生活保護授産施設、社会事業授産施設の方が主な参加対象となります。</p> <p>② 雇用事業部会（運営：セルフ協 雇用事業部会 幹事会） ※ 就労継続支援A型事業所の方が主な参加対象となります。</p> <p>③ 就労継続支援事業部会（運営：セルフ協 就労継続支援事業部会 幹事会） ※ 就労継続支援B型事業所の方が主な参加対象となります。</p> <p>④ 就労移行支援事業部会（運営：セルフ協 就労移行支援事業部会 幹事会） ※ 就労移行支援事業所の方が主な参加対象となります。</p> <p>⑤ 生産活動・生活介護事業部会（運営：セルフ協 生産活動・生活介護事業部会 幹事会） ※ 生活介護事業所、地域活動支援センターの方が主な参加対象となります。</p> <p>⑥ くらす検討会（運営：セルフ協 制度・政策・予算対策委員会） ※ この分科会は、グループホームや施設入所支援等の“くらす”の場面の支援に従事している方が主な参加対象となります。</p> <p>* 5つの就労支援事業に加え、住まいに係る事業の計6つの分科会を設けます。 各事業の、① 現状と課題を踏まえ今後の制度改善に向けた方策を検討すること、 ② 各事業の役割をいかに果たしていくかの視点を共有すること、を目的としてグループ討議を実施します。</p>
11:45~12:45	昼食・休憩、全体会場へ移動
12:45~13:45 (60分)	<p>特別講演「スポーツ文化とアスリートを支えるモノづくり（仮題）」 (株) アシックス</p>
13:45~14:00	<p>閉会式 <次年度開催県挨拶> 青森県社会就労センター協議会 ※ 30年度大会は平成30年7月12日~13日に青森県で開催予定です。 <閉会挨拶> 全国社会就労センター協議会 副会長</p>

10. 申込方法(インターネットWEB申込み、又はFAX申込みのどちらか)

参加、宿泊等お申し込み受付は「東武トップツアーズ(株)神戸支店」が行います。別添の「申込のご案内」をご参照のうえ、「申込書」(「申込のご案内」の最終ページに掲載しています)をFAXで送っていただくか、大会専用申込みサイトへアクセスの上、インターネットよりお申込み下さい。(宿泊・昼食・情報交換会が不要な方も参加申込は行ってください。)

★「全国社会就労センター総合研究大会 兵庫大会」申込みWEBサイト★

<https://conv.toptour.co.jp/shop/evt/hyogo-selp2017/>

※ 車いす利用や、手話通訳・要約筆記等の希望等、大会参加にあたって配慮が必要なことがありましたら、申込書の確認欄および備考欄にてできるだけお早目にお知らせください。

【申込・問合せ】東武トップツアーズ(株)神戸支店 (担当:小林・泉田/平日9:00～18:00、土・日・祝日は休業)

〒651-0087 兵庫県神戸市中央区御幸通6丁目1-20 ジイテックスアセントビル3階

TEL:078-221-1100 FAX:078-221-1567 E-mail:hyogo-selp2017@tobutoptours.co.jp

11. 分科会(事業別部会等)

分科会では6～8人のグループに分かれてディスカッション(討議)を実施します。グループ編成は事前に行いますので、当日の運営を円滑に進めるためにも、分科会を欠席される場合は、申し込みとあわせて事前にご連絡ください。(分科会希望欄に“欠席”とご記入ください)

12. 参加費の支払い・訂正・取消

- インターネットWEBでお申込みの方(請求書・参加券はWEBサイトから印刷することができます。)
 - ◎クレジット決済/クレジットカード情報を入力して頂きますと、お支払いが完了いたします。
 - ◎銀行振込/お支払ページに表示されている請求額を指定口座へお振込み下さい。
 - ◎参加の変更や取り消しは申込みのWEBサイトで行います。また、参加券はWEBサイトからご自身でプリントアウトしていただいたものを当日必ず会場受付にお持ちください。
- FAXでお申込みの方
 - ◎7月初旬頃に請求書と参加券を郵送いたします。期日までにお振込みをお願いいたします。
なお、参加券は当日必ず会場受付にお持ちください。
 - ◎参加の変更や取り消しは、お送りいただいた「申込書」に訂正箇所がわかるようにして、FAXで東武トップツアーズ(株)神戸支店へご連絡ください。
- 申込締切日以降の参加の取り消しについては、大会後に資料一式をお送りし、参加費のご返金はいたしませんので、予めご了承ください。
- 領収書は、お振込み時の控えをもって当社の領収書に代えさせていただきます。別途参加費の領収書が必要な場合は、メールまたはFAXにて希望する旨の記載をお願い致します。

13. 参加申込締切 平成29年6月29日(木)必着

※締切日前でも、募集人数に達した場合はお断りをする場合がありますので、ご了承ください。

14. 個人情報の取り扱い

- 「申込書」にご記入いただいた個人情報につきましては、申込受付等委託業者(東武トップツアーズ(株)神戸支店)とセルフ協事務局で共同利用させていただきます。
- 個人情報は、参加申込受付、参加にあたり希望される宿泊等のサービス提供など、大会運営に必要な範囲内で使用いたします。
- 参加者の交流に資するため「申込書」をもとに参加者名簿(参加者氏名及び役職、施設・事業所名及び実施事業種類を掲載)を作成し、当日配布しますのでご了承ください。

15. 大会の内容に関する問合せ先(事務局)

全国社会就労センター協議会(「セルフ協」)事務局(担当:寺西、源馬、小高)

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル 社会福祉法人 全国社会福祉協議会 高年・障害福祉部内

TEL:03-3581-6502 / FAX:03-3581-2428 / E-mail:selp@shakyo.or.jp / WebサイトURL:http://www.selp.or.jp/